

肝細胞癌 :ラジオ波焼灼療法 ver.1

ID

患者名

殿 年齢 歳

性別 : 男・女 病棟名()

医療者用

NO.1/1

【適応基準】径3cm未満で3個までのHCC		計画オーダー				主治医			
【除外基準】肝外転移、腹水、エコーで描出できない癌細胞、その他医師が医学的にみて焼灼不適切と思われる部位に存在する癌の場合、医師の判断		【疼痛時】 ソセゴン(15)1A+アタP(25)+生食100ml				/ Dr. サイン			
治療・看護	1	2	3	4	5	6	7	退院時指導	
治療計画	・病院内フリー	・焼灼療法後、ベッド上安静(5時間) ・焼灼療法翌日から病院内フリー				□医師の指示により退院可	□医師の指示により退院可	□医師の指示により退院可	・次回外来受診日の確認
食事	・常食又は肝臓病食	【焼灼療法当日】 ・朝食後から絶飲食	・夕食から常食又は肝臓病食	・常食又は肝臓病食				・生活指導 ・食事指導 ・退院後の外来受診日	
注射・薬剤		①ラクテック 500ml ②ソルデム3A 500ml ③ソルデム3A 500ml ④セファゾリン1g +NS100ml×1(夕) □点滴ルート確保	④セファゾリン1g+NS100ml ×2(朝・夕)	中止					
検査			□ラジオ波翌日 (/) 採血 血算、血液像、CRP、ALP、GOT、GPT、LDH、BUN、Cr、Na、K、Cl、T-Bil、D.Bil、血糖		□ラジオ波2~3日後 (/) 採血 血算、血液像、CRP、ALP、GOT、GPT、LDH、BUN、Cr、Na、K、Cl、T-Bil、D.Bil、血糖				
処置		□ラジオ波焼灼 (又は3日目)	□ラジオ波焼灼 (又は2日目)						
指導計画	・入院後の検査・治療説明 (医師)								
看護計画	清潔	・入浴可	・ラジオ波焼灼の午前中まで入浴可 ・ラジオ波焼灼後から入浴不可	・入浴不可	・ラジオ波焼灼3日後から発熱がなければ ・シャワー浴可			退院時指導・観察項目	
	排泄	蓄尿が必要なときには 別途指示							
	観察項目 (チェックリスト) (必要物品の確認)	・VS測定 ・体重・身長測定	【焼灼療法後観察】 ・VS3検 ・発熱の有無 ・腹痛・疼痛の有無 ・穿刺部の出血の有無						
	指導計画	・入院時の生活指導 ・治療説明 (看護師)					・退院指導(看護師)		
	ソーシャルワーク 計画								
	バリアン スと								